



(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌

<http://gifu-pt.jp/>

2022
No.142

らいちよう

7月17日は理学療法の日

理学療法フェア (岐阜支部)

in イオンモール各務原



目次

巻頭言		令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会	
第32回岐阜県理学療法学会		第1回部局長会議議事録(要約)	4
学術集会を終えて	2	令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会	
令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会		役員一覧	6
定期総会議事録(要約)	3	各部・委員会からの報告	8
令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会		会員の声	17
第1回理事会議事録(要約)	3	賛助広告	18
令和4年度(公社)岐阜県理学療法士会		賛助会員	25
第2回理事会議事録(要約)	4		

第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会を終えて

～ 理学療法がつなぐ命 ～

第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会

準備委員長 植木 努

(平成医療短期大学)



第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会を 6 月 26 日（日）に開催させていただきました。学術集会長の長谷部武久教授（平成医療短期大学）とともに準備委員長として携わりました。本大会の運営には様々な方のご協力をいただきました。準備委員の皆様には学会の立案、演題の決定、プログラム構成、広報活動などにご支援いただき、当日の運営には 30 名以上の県士会員の方々に協力いただきました。また、岐阜県、岐阜市、岐阜市医師会、岐阜県看護協会、岐阜県作業療法士会、岐阜県言語聴覚士会からの後援を頂戴し、大塚製薬工場様、松本義肢製作所様、株式会社ケア様の 3 社に企業出展の御協力いただきました。この場をお借りしてご協力いただきましたすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

今回の学会は with コロナの状況における初めての対面開催の県学会となりました。会員の皆様に本当に参加していただけるか心配していましたが、265 名という非常に多くの方々に参加いただき開催できたことをとてもうれしく思っております。対面やオンラインでの開催方法についての賛否には様々な意見がありますが、今回対面での学会を久しぶりに経験し、発表では演者の先生の研究に対する熱い思いを、活発な質疑では理学療法に対す知識を深めたいという気持ちを肌で感じる事ができました。また会場で参加者の皆さまが談笑をされている様子を拝見し、対面開催の意義を再認識させていただきました。一方、感染対策を行いながらの学会運営の不便さ、参加したいが感染リスクのため参加することができなかった会員の方がおられることなど、今後の課題も知ることができました。

ここ数年は多くの県士会の研修会が中止やオンラインとなり、職場での歓迎会の中止や職場での懇親会の禁止など、若手の理学療法士にとって“学び”や“つながり”を得る機会が減少していると思います。そのような中で、本学会では多くの若手の理学療法士の先生に発表をしていただけたことを嬉しく思います。研究活動を通して職場の先輩方から学び、発表においては他の施設の先生からの意見を聞き、そして、つながりを持てただけたことは、理学療法に対するモチベーションの向上につながったのではないかと思います（学会後に『研究をしてみたい』『大学院で学びたい』などの相談がありました）。本学会を通して岐阜県の理学療法がつながり、多くの患者様の命（生活）の支えにつながっていくことを願っております。

最後に、本学会において開催方法や登録方法の連絡が遅くなりましたこと、感染対策において参加者の皆様にはご不便、ご迷惑おかけいたしましたことをお詫びいたします。また、次回の第 33 回岐阜県理学療法学会学術集会（大垣市）にてお会いできることを楽しみにしております。

令和4年度 (公社) 岐阜県理学療法士会 定期総会議事録 (要約)

日時：令和4年6月26日(日) 12:10～12:45

場所：じゅうろくプラザ

第1号議案：令和3年度事業報告

第2号議案：令和3年度決算報告・監事監査報告

第3号議案：令和4年度事業予定・予算報告

第4号議案：その他

会長挨拶：会長 村雲 憲が令和4年度公益社団法人岐阜県理学療法士会定期総会開会の挨拶。本日はお忙しい中ご出席頂きありがとうございます。新役員になり1年が過ぎました。コロナの影響でほとんどの事業が中止になっておりましたが、オンライン研修の開催や、対面での研修も少しずつ開催できるようになりました。今後とも県民の皆様のお力になりたいと思います。また、会員の皆様に県士会のメリットを感じて頂けるように引き続き尽力して参ります。

定足数報告：令和4年3月31日現在、会員数1,710人、委任状人数1,146人、本会場人数242人で、定款第4章第19条による総会成立に必要な定足数に達したこと及び定款等変更の成立要件である第19条第2項による総正会員の議決権の3分の2以上を満たすことを報告。

第1号議案：令和3年度事業報告→賛成多数により承認。

第2号議案：令和3年度決算報告・監事監査報告→賛成多数により承認。

第3号議案：令和4年度事業予定・予算報告→賛成多数により承認。

令和4年度 (公社) 岐阜県理学療法士会 第1回理事会 議事録 (要約)

日時：令和4年5月14日(土) 13時00分より

場所：岐阜県水産会館

出席：村雲憲、舟木一夫、河合克尚、田中利典、小

野晶代、岩島隆、田島嘉人、臼井美由紀、久保田将成、三川浩太郎、有田志保美、棚橋一憲、大場かおり、吉井秀仁、伊藤友紀

欠席：岸本泰樹

議題1：会長報告

議題2：副会長及び常任理事報告

議題3：新入会員の承認→40名承認

議題4：令和3年度事業報告(吉井)

コロナ禍の影響でオンラインでの研修会が増えた。イオン等一部の事業は執行することができた。福祉機器展や支部のフェアは中止となっている。→承認

議題5：令和3年度決算報告(大場)

収支相償では約72千円の超過になり基準を満たすことができなかった。公益事業費比率は78%で50%以上のため達成。遊休財産は令和3年では達成することができた。令和3年度はコロナ禍でもオンライン研修等により、事業執行ができるようになったが1つが未達成となった。全体では会費収入の減額や前年度の持続化給付金等がなくなり、前年度より約360万円減少。事業費は予算より約35万円不足していたが、管理費の余剰金から補填。東海北陸学会では令和4年度からも動き出しており事業費への予算計上を補正で行う予定。→承認

議題6：監事監査報告(有田監事)

本日午前に監事監査を行った。会計帳簿等も確認したところ適正に行われていることを報告する。

議題7：令和4年度定期総会について(吉井)

今年度より県学会と同時開催となった。学会側と検討し学会受付時に総会参加の有無を確認。総会のみ参加者はネームホルダーを使用。→承認

議題8：その他

学術誌 出版誌の発行方法について(岩島)
電子化への変更を検討していく。1施設1～2冊、投稿者各1冊、それ以外は希望制。→承認
東海北陸学会について(舟木)
東海北陸学会準備委員会が発足。部として立ち上げ、予算計上したい。→承認
岐阜ダイハツ「自治体支援チーム」へ加入及び岐阜県SDGsネットワーク会員への加入について(田島)
障がい福祉分野の部局(担当者)の設立について

て（舟木）
障がい福祉サービスがないため対応できるようにしていきたい。19～20歳からの介護保険に入らない方々に対応してほしい。 →承認
現在の職能局 介護保険対策部を障がい福祉・介護保険対策部に名称変更
岐阜県士会 アプリ作成報告（久保田）
令和5年度4月にはリリースできるよう計画している。

令和4年度 （公社）岐阜県理学療法士会 第2回理事会 議事録（要約）

日時：令和4年7月3日（日）13時00分より

場所：平成医療短期大学

出席：村雲憲、舟木一夫、河合克尚、田中利典、岸本泰樹、岩島隆、三川浩太郎、田島嘉人、久保田将成、有田志保美、大場かおり、伊藤友紀、吉井秀仁

欠席：小野晶代、臼井美由紀、棚橋一憲

議題1：会長、副会長及び常任理事報告

議題2：新入会員承認→40名承認

議題3：令和4年度定期総会報告→

出席会員数：242名、委任状数：1146名
郵送が遅延した件について、今後配送方法の検討を実施する

議題4：前回理事会からの進捗状況報告

岐阜県SDGsネットワーク会員→加入済、ダイハツ自治体支援チーム →申請済
新入会員入会祝いの配布→対面でお渡しできる機会配布

議題5：実技研修時の開催ガイドラインについて
三川理事により作成、作成済の対面研修ガイドラインと一緒に実技研修のガイドラインも周知を図る →承認

議題6：学会規定の変更について

6月に学会開催となった為、新入会員の参加費取り扱いについて規定第6条を追記する →承認

議題7：理事会の傍聴について →承認

次回理事会でまずは役員に対して傍聴案内を実施する

議題8：公益法人立ち入り検査について

8月5日（金）9:00～17:00に実施される。

令和4年度 （公社）岐阜県理学療法士会 第1回部局長会議 議事録（要約）

日時：令和4年7月3日（日）10時より

場所：平成医療短期大学

出席：村雲憲、舟木一夫、河合克尚、田中利典、田島嘉人、岩島隆、岸本泰樹、三川浩太郎、久保田将成、大場かおり、笠野由布子、澤村彰吾、児島良典、小久保晃、田畑亜実、伊藤康行、三浦大介、矢代真也、寺倉篤司、名和敏晃、小鳥川彰浩、上野浩季、鶴飼浩史、馬場隆幸、今津統紀子、住若克弥、富田純也、小林弘明、曾我哲也、千邑彰人、戸部一隆、古田裕之、岡山好男、留田隆志、熊崎康将、藤本佳希、伊藤友紀、吉井秀仁

欠席：小野晶代、臼井美由紀、

内容：会長挨拶、令和4年度定期総会報告、
議題1. 各部局事業の進捗状況報告、
議題2. その他

会長：新体制になり約1年になりました。各部局のヒアリングを行い、改めて多くの方々のご協力の上で県士会が成り立っているのだと思いました。今後も県民の皆様のためにそして会員の皆様のためによりよい県士会にしていきたいと思います。

議題1：各部局事業の進捗状況報告（一部抜粋）

学術局

局長（岩島） 新生涯学習システムになってから、講習会や研修会の申請が増えています

研修部（笠野） 県民公開講座を10月に開催予定です

教育部（澤村） システムの変更により前期研修が2回になりました

理学療法講習会部（児島） 協会から指定があった「腰痛予防」の講習会をオンラインで開催予定です

生涯学習部（小久保） 登録理学療法士講習会を7回予定しています

学術誌出版部（田畑） 学術誌の出版に関するアンケートの結果に伴い、各施設2部、発表者1部の発送に変更します。希望者にはらいちょうにて周知し発送します。

学会運営部（三川） 第32回は演題数37,265名の参加があった。

第33回は2023/6/11 大垣市情報工房にて開催予定

第34回は飛騨地域で開催予定

東海北陸学会運営部（舟木）2024年9月8日じゅうろくプラザでハイブリッド形式での開催を計画中

社会局

局長（久保田） 社会局のツールを活用し組織力の強化や会員への周知を図っていく

子ども福祉部（三浦） 6/4, 5子ども福祉機器展開催。来場者1162名、出展企業から2社が賛助会員に加入していただいた

共催事業部（伊藤） うちわ、ボールペン、Tシャツを作成し各事業部に配布しました

広報部（矢代） らいちょう年4回発行予定、対外向けのリーフレットも500部作成した

IT部（寺倉） HP、SNSの更新に加え、モバイルアプリの開設を開始。来年4月開設予定

厚生部（名和） 会員の結婚お祝い：5件、スポーツ大会助成の申請は現在ありません

調査部（小鳥川） 今年度の会員属性調査、IT環境調査をgoogleフォームで実施予定

災害対策部（上野） JIMTEFの研修が6月にオンラインで開催

地域包括ケアシステム推進部（鵜飼） 県の補助金事業、介護予防人材育成研修を実施予定

地域包括ケアシステム推進部渉外事業担当（岸本） 市町村におけるシルリ八関連事業、人材派遣事業に対応中

職能局

局長（田島） 職域の拡大に繋がっていきたいが、人材が不足している為、興味がある会員には是非参加してもらいたい

障がい福祉・介護保険対策部（馬場） 今年度より

障がい福祉の分野も担当。需要は増えてきているので、情報収集して進めていきます

人材育成サポート部（今津） 臨床実習指導者講習会を7、8、9月にオンラインで開催。管理者研修は秋に開催予定です

メディカルサポート部（住若） 各務原市の一般向け生涯学習に参加中。その他の事業についてはコロナの影響で未定です

地域職域連携推進部（富田） 毎月1回イオンモール各務原でのウォーキングイベント、岐阜ダイハツ主催のイベント等に参加しました。8/27、28のキッズタウン、11/22、23のぎふささえあいフェスタにも参加予定で準備しています

支部局

岐阜支部（小林） 岐阜市と各務原市主催の健康イベントは中止が決定しました。7/17にイオンモール各務原で理学療法フェアを開催予定です
中濃支部（曾我） 理学療法フェアは7/10関市マージにて開催予定です

東濃支部（千邑） 健幸フェスタin恵那は10/9開催に変更になりました。その他のフェアについては今の所未定です

西濃支部（戸部） 5月いびがわ健康福祉フェア、6月大垣市スポーツフェスティバルに参加。新規事業として大垣市かがやきクラブのウォーキングに講師として参加しました

飛騨支部（古田） 福祉フェアは開催未定です

委員会

選挙管理委員会（岡山） 今年度末に改選となります。選挙になるとインターネット投票を予定しています。

研究開発委員会（留田） 4つの研究会に今年度も助成しています

表彰委員会（熊崎） 引き続き、会員で該当する表彰があれば推薦していきます

政治参加特別委員会（藤本） 来年度統一地方選も控えています。例年通り準備していきます

議題2：その他

新規賛助会員の紹介

Lee制作室（福井県）、であい工房（広島県）の2社が新規入会いただきました

公益社団法人 岐阜県理学療法士会 役員一覧 (令和4年度)

部署・役職名		氏名	勤務先
会長		村 雲 憲	東可児病院
副会長		舟 木 一 夫	羽島市民病院
		河 合 克 尚	平成医療短期大学
理事		村 雲 憲	東可児病院
		舟 木 一 夫	羽島市民病院
		河 合 克 尚	平成医療短期大学
		小 野 晶 代	岐阜清流病院
		田 中 利 典	友愛会 介護本部
		田 島 嘉 人	平成医療短期大学
		岩 島 隆	岐阜保健大学
		岸 本 泰 樹	Think Body Japan ライフアップ可児
		三 川 浩太郎	中部学院大学
		臼 井 美由紀	からだ Re 創作 Motto
		久保田 将 成	岩砂病院・岩砂マタニティ
		吉 井 秀 仁	山内ホスピタル
事務局	事務局長	吉 井 秀 仁	山内ホスピタル
	事務副局長	岸 本 泰 樹	Think Body Japan ライフアップ可児
	財務部長	大 場 かおり	平成医療短期大学
	事務局監事	田 中 利 典	友愛会 介護本部
学術局	学術局長	岩 島 隆	岐阜保健大学
	学術副局長	三 川 浩太郎	中部学院大学
	研修部長	笠 野 由布子	中部学院大学
	教育部長	澤 村 彰 吾	平成医療短期大学
	理学療法士講習会部長	児 島 良 典	羽島市民病院
	生涯学習部長	小久保 晃	岐阜保健大学
	学術誌出版部長	田 畑 亜 実	山内ホスピタル
	学会運営部長	三 川 浩太郎	中部学院大学
	令和4年度大会長	長谷部 武 久	平成医療短期大学
	令和5年度大会長	辻 量 平	大垣徳洲会病院
東海北陸学会運営部	舟 木 一 夫	羽島市民病院	
社会局	社会局長	久保田 将 成	岩砂病院・岩砂マタニティ
	社会副局長	伊 藤 康 行	医療法人社団橘会 新生病院
	こども福祉部長	三 浦 大 介	岐阜県立多治見病院
	共催事業部長	伊 藤 康 行	医療法人社団橘会 新生病院
	広報部長	矢 代 真 也	岩砂病院・岩砂マタニティ
	IT部長	寺 倉 篤 司	西美濃厚生病院
	厚生部長	名 和 敏 晃	介護老人保健施設 喜の里
	調査部長	小鳥川 彰 浩	久美愛厚生病院
	災害対策部長	上 野 浩 季	久美愛厚生病院
	地域包括ケアシステム推進部長	鵜 飼 浩 史	近石病院
	渉外事業担当	岸 本 泰 樹	Think Body Japan ライフアップ可児
	研修事業担当	鵜 飼 浩 史	近石病院

	部署・役職名	氏名	勤務先
職能局	職能局長	田島 嘉人	平成医療短期大学
	診療報酬対策部長	田島 嘉人	平成医療短期大学
	障がい福祉・介護保険対策部長	馬場 隆幸	訪問看護ステーションほのぼ
	人材育成サポート部長	今津 統紀子	平野総合病院
	メディカルサポート部長	住若 克弥	羽島市民病院
	地域職域連携推進部長	富田 純也	近石病院
支出局	支出局長	小野 晶代	岐阜清流病院
	支局副局長	臼井 美由紀	からだ Re 創作 Motto
	岐阜支部長	小林 弘明	岐阜県総合医療センター
	中濃支部長	曾我 哲之	美濃市立美濃病院
	東濃支部長	千邑 彰人	あおぞら訪問看護ステーション
	西濃支部長	戸部 一隆	大垣市民病院
	飛騨支部長	古田 裕之	高山赤十字病院
常設委員会	選挙管理委員長	岡山 好男	市立恵那病院
	研究開発部長	留田 隆志	中濃厚生病院
	表彰委員長	熊崎 康将	岐阜県総合医療センター
	規約審議委員長	熊崎 康将	岐阜県総合医療センター
	倫理委員長	舟木 一夫	羽島市民病院
	政治参加特別委員会	藤本 佳希	八幡病院
	常設委員会監事	舟木 一夫	羽島市民病院
諮問機関	組織検討委員会委員長	榎林 優	中部脳リハビリテーション病院
	公益事業推進委員会委員長	吉川 昌子	大垣市保健センター
代議員		和田 範文	揖斐厚生病院
		河合 克尚	平成医療短期大学
		原 司	特別養護老人ホーム シクラメン
		久保田 将成	岩砂病院・岩砂マタニティ
監事		有田 志保美	多治見市民病院
		棚橋 一憲	棚橋一憲税理士事務所
相談役		榎林 優	中部脳リハビリテーション病院
事務所		伊藤 友紀	公) 岐阜県理学療法士会事務所



厚生部より

厚生部では会員の皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

※結婚届を申請する場合は、連絡のとれる電話番号の記載をお願いしています。

何らかの確認でお電話を差し上げることがありますので、必ず連絡のとれる番号をご記入願います。058 - 276 - 7755 から番号通知しておかけします。ご協力をお願い致します。

厚生部では、下記の内容を実施しております。

- 1) 災害見舞金 会長の判断による。
- 2) 結婚のお祝い 会員の結婚に際しお祝いの品(カタログギフト)を贈る。
(本人または他会員の申請による)
- 3) 弔電 会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。
会員外は会長が認めた場合。
- 4) 供花 会員本人に不幸があった場合、供花を供える。
- 5) イベント助成 会員有志によるスポーツ大会などの助成。
企画型) フットサル等 多人数で行う競技の助成
参加型) マラソン等 個人競技

上記以外にもご意見・要望、不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先

〒500 - 8288

岐阜県岐阜市中鶯2丁目99番地

TEL 058 - 276 - 7755 FAX 058 - 276 - 7733

介護老人保健施設 喜の里

名和 敏晃

学術誌出版部より

今年度も岐阜県理学療法士学術誌を発刊するにあたり、学会等で発表された演題において投稿をよろしくお願いたします。詳しい投稿規定は岐阜県理学療法士会員ページ、学術誌出版部お知らせよりご参照下さい。

また、今年度より学術誌発刊が電子化へ変更となります。これに当たり、学術誌の発刊を各病院へ1～2部、発表者1部、希望者1部、自宅会員は配布なしとさせていただきます。電子媒体が主体となるため、冊子希望者は11月30日までに下記アドレスまでお問合せ下さい。

gifuptagaku5008384@yahoo.co.jp

学術誌出版部
田畑亜実

学会評議員会より

～ 第32回岐阜県理学療法学会 学術集会にて、 優秀演題の表彰式を 執り行いました～

令和4年6月26日開催の第32回岐阜県理学療法学会学術集会（じゅうろくプラザ）の閉会式にて、最優秀賞1名、奨励賞2名の表彰式が執り行われました。

選出方法は、抄録の査読結果より表彰対象者を7名選出し、当日の開会式直後のセレクション演題セッションの発表内容にて、最優秀賞1名、奨励賞2名が選出されます。以下に受賞者をご紹介します。

最優秀賞

堀江文香先生

（岐阜県地域児童発達支援センター ポッポの家）

3つの領域から見たダウン症児歩行的発達段階の評価

奨励賞

山内 渉 先生

（岐阜県立多治見病院）

長期臥床を余儀なくされたクモ膜下出血例の身体活動量の推移 -Behavior Mapping による離床時間計測と活動量計を用いた検討 -

奨励賞

伊藤 兼 先生

（岩砂病院・岩砂マタニティ）

拡散テンソル画像における定量解析手法の比較 検者間信頼性による検証



写真左から山内先生、村雲会長、
長谷部学会長、伊藤先生、堀江先生

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。皆様の今後益々のご活躍をお祈りいたします。

なお、受賞された皆様の発表は、論文として岐阜県理学療法士会学術誌第27号に掲載予定です。

本会の学術向上のため、今後も皆様の活発な演題発表、学術誌への寄稿をお願い申し上げます。

学会評議員長

三川 浩太郎

第 40 回日本理学療法士協会 協会賞

協会賞を受賞して

揖斐厚生病院

和田 範 文

この度第 40 回協会賞を受賞したことは身に余る光栄とともに、村雲県士会長はじめ理事・役員の方や士会員の皆様のご理解ご協力のおかげと深謝いたします。

振り返れば平成 11 年に「らいちょう」を発行する広報部長を皮切りに、力不足と思いながら理事兼学術局長および副会長を務めさせていただきました。どんどん増えていく会員に対して、少しでも魅力的な会組織であるよう様々な企画や情報発信をしてきたつもりですが至らない点多々あったかと思えます。この機会にお詫びするとともに、ご協力いただきました関係スタッフに感謝申し上げます。ありがとうございました。

日本理学療法士協会 感謝状 岐阜県理学療法士会 会長賞

謝 辞

中部脳リハビリテーション病院

榎 林 優

2022 年 6 月、岐阜県理学療法士会より会長賞、日本理学療法士協会より感謝状を拝受いたしました事「らいちょう」の場をお借りし報告いたします。このような名誉な賞を頂くという望外の吉報に接し、心より感謝申し上げます。また、第 32 回岐阜県理学療法学会学術集会開会式におきまして、授与の機会を設けていただいたにもかかわらず、諸事情により参加できず心よりお詫び申し上げます。

今回、2021 年 4 月 20 日に「自殺を防いだ」ということが人命救助に当たるとのこと（<https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/1455>）で、加茂警察署および美濃加茂市より表彰されたことを受け、更に県士会・協会から表彰を頂くこととなりました。発生時、まさか自分がそのような現場に遭遇するとは…ドラマではどうやって説得してた？…と頭の中はフル回転しました。たまたま周囲との連携が上手くいき最悪の事態を防ぐことができましたが、運が良かっただけのことだと思います。この文を書いている「今は」奈良県警が連日責められている状況ですが、「あんな場面で自分なら 3 秒間で行動ができるのか…」と考えざるを得ません。話が逸れてしまいました。改めまして、このような身に余るご配慮の数々に深謝申し上げます。ありがとうございました。



コロナ禍を乗り越え、3年ぶりに 岐阜こども療育用具・福祉機器展開催

こども福祉部

岐阜こども療育用具・福祉機器展は2010年から2019年まで10回の開催をしてきました。そしてコロナ禍が訪れました。2020・2021年は、開催日ギリギリのタイミングまで開催の可能性を探りましたが、岐阜県の非常事態宣言を受けて断腸の思いで中止と致しました。全国各地のこども福祉機器展は、コロナ禍によって相次いで中止となり、こどもたちは多くの選択肢から自分に最適な機器を選ぶ機会を失いました。

そしてワクチンが行き渡った2022年開催。止まっていたこども福祉機器展を再始動するために、コロナ対策を徹底した開催計画を立てました。展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン改訂版を基に、医療従事者の職能団体の主催であることから、一切の妥協を許さずに徹底致しました。具体的には、一般的なコロナ対策に加えて、来場事前登録・時間帯定員制・スタッフは常時アイガード装着・オムツ替えスペース不設置を行いました。



その結果、来場希望者には定員オーバーで来場できなかったことや、来場者がオムツ替えのために駐車場まで戻るといった大変なご不便を強いてしまうこととなりました。そのような皆様のご協力のおかげで、コロナ感染を起こすことなく無事に開催することができました。



開催データでは、出展社数50社で過去最多、来場者数1162人で過去最高、来場者アンケートで満足した群85.9%と満足度過去最高の充実したこども福祉機器展となりました。満足度が高かった要因としては、時間帯定員制としたことで人出の波がない高水準を維持して、常に来場者と企業担当者がマッチし、納得いくまでフィッシングと説明が受けられたためと推察致します。

コロナ禍による2年間で失ったものは大きかったです。しかし、コロナ禍を乗り越えるための方策である時間帯定員制によって、これまでの開催では成し得なかった満足度の高いこども福祉機器展となりました。



今後の開催では、時間帯定員制は継続しつつ、オムツ替えのスペース特設などは改善をして、コロナ対策とサービスのバランスの取れた開催を目指していきます。岐阜こども療育用具・福祉機器展は、小児理学療法を必要とするこどもたちの利益の増進に寄与するために、まだまだ進化を続けます。

(文責：三浦 大介)

「LOVE LOCAL ぎふ 住み続けられる街づくりへの挑戦」 カラフルタウン岐阜

職能局 地域職域連携推進部
近石病院 富田 純也

岐阜ダイハツ主催による「LOVE LOCAL ぎふ 住み続けられる街づくりへの挑戦」のイベントに、4月15日（金）・16日（土）・17日（日）の3日間参加しました。

“1日でも長く、健康で安全に車を運転して頂けるように”、65歳以上の高齢者に対して、当会は健康寿命の増進に関する体験として、姿勢に関する講演、AYUMIEYEを使った歩行分析、コグニサイズ、高齢者の模擬体験、モール内一斉ウォーキングなどを行いました。

当会以外にも岐阜聖徳学園看護学部の看護師・看護学部学生による厚生労働省作成「後期高齢者の質問票」を用いた問診、INBODY社の医療機器を用いた体成分分析、食育SATシステムを用いた栄養指導、医師による「オンライン健康相談」が行われました。

問診や分析など、各専門家とアライアンスを組むことで、総合的なアドバイスが可能となり、健康寿命の増進に繋がれたと思われます。また体験者の中には22%の方がサルコペニアに該当し、要介護予備軍の発見にも繋がりました。

今後は、地域の様々なイベントに関わり、理学療法士として健康増進や予防を行いつつ、理学療法士（会）の知名度の向上を図り、職域拡大に繋がられるようにしていきたいです。



● 岐阜支部より

理学療法フェア

岐阜支部
小林 弘明

7月17日「理学療法の日」にちなんで、イオンモール各務原3Fドトール前で理学療法フェアを開催。2ステップ・立ち上がりテストのロコモチェック、子供のロコモチェック、握力測定を実施しました。250名を超える方々に体験や測定をしていただくとともに、啓発活動としてパンフレット配布を実施しました。そのなかで、ご家族内にリハビリテーション関係職種の方がいたり、子供の進路に考えてみえる親御さんがいたり、理学療法士という職業知名度が向上していることを実感しました。



社会局の紹介

こども福祉部

こども福祉部では、小児理学療法を必要とするこどもたちの利益の増進に寄与することを目的として、①岐阜こども療育用具・福祉機器展②小児・障がい児者リハビリテーション専門研修③岐阜県小児リハビリマップ④岐阜県小児理学療法ネットワークの4事業を行っています。

直近の実績としては、①特集ページ参照②静岡県立こども病院の稲員恵美先生を講師でお招きし、受講者数101人、満足した群72%③全60機関掲載④登録者数約70人となっています。事業を継続していくことは大変ですが、こどもたちの笑顔を糧に前に進み続けます。

部員：三浦大介 濱岸利夫 吉村利佳子 木野裕成 岡田大治 鹿野昭幸
岡山好男 山本沙代 栗本大資 真野歩実 上村文乃 坂下杏子
平光伸次 山本将 弓岡美咲



厚生部

厚生部は、皆様の福利厚生を担当する部署です。

ご結婚のお祝いを贈ることをはじめ、スポーツ活動費の助成などを行っています。

会員のご結婚の際は、遠慮なくお知らせください。また、フットサル大会やマラソン大会への参加など、会員有志が集まり岐阜県理学療法士会として活動すると参加費の助成が行えます。こちらも是非、ご利用ください。



厚生部 名和 敏晃

調査部

組織の構成や社会背景は日々変化しています。アンケートを通じて皆さんの「今思うこと」を把握し、会員の動向やご意見を会の事業運営に役立てています。

昨今、PCやスマホを通じた情報交換手段もどんどん進歩しており、調査手法もIT化を図る時期にきています。新しいご提案として「Googleフォームを用いたオンラインアンケート」形式を導入したいと考えており、詳細はf-netやSNS等で近日中にご案内いたします。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



調査部 小鳥川 彰浩

広報部

会員の皆さまに読んでいただける1冊を

今、手にしている機関誌『らいちょう』がどのように作られているかご存知でしょうか？

年4回（5月、8月、11月、2月）発行されており、岐阜県理学療法士会の情報や活動報告、会員の声を皆さまにお届けしています。発刊の数ヶ月前から原稿の依頼や校正、封筒詰めなどの準備をすすめています。『らいちょう』を通して会員の皆さまに発信したいことがありましたら、ぜひお声掛けください。

これからもたくさんの方々手に取ってもらえるよう、充実した機関誌を作っていきますので一緒に盛り上げていきましょう。

広報部 矢代 真也 宮田 春奈



IT部

IT部は、岐阜県理学療法士会ホームページ、岐阜県理学療法士会 Face book、Twitter のSNS管理を行っています。

ホームページでは、研修会案内、各支部、部局の活動報告、事務局からのお知らせ、会員ページでは「会員図書館」と称した岐阜県理学療法士会学会誌や学術誌のバックナンバーの閲覧など会員の皆様に有益な情報を随時掲載しています。

また来年度の公開に向けて、各会員の皆様に情報を身近に届けられるように岐阜県理学療法士会モバイルアプリケーションの企画開発を進めております。

各種事務手続きや会員図書館などホームページの会員ページを閲覧する場合は、下記のログインとパスワードが必要です。

ID : gpta Password : admini

岐阜県理学療法士会ホームページ <https://gifu-pt.jp/>

Face book <https://www.facebook.com/gifupt/>

Twitter @gpta2019 または、<https://twitter.com/gpta2019>

随時研修情報を知りたい時は Facebook、Twitter のフォローアップをお願い致します。

IT部 寺倉 篤司



共済事業部

理学療法週間事業部から名称を改め、共催事業部として事業を実施しております。

具体的な活動は、各種イベント（健康フェアや理学療法の日イベントなど）で参加者に配布するグッズの企画や作成（今年度はボールペンとうちわを作成）、理学療法ハンドブックやリーフレットの取り寄せと各支部への配布、イベントスタッフが着用するTシャツの作成です。

また毎年、理学療法の日に全国一斉イベントとして開催している岐阜県下の活動状況を取りまとめて日本理学療法士協会に報告しております。

各種グッズに関するお問い合わせ等がございましたら、お気軽にご連絡ください。皆様のニーズに合った活動の実施に努めてまいります。



共催事業部 伊藤 康行

災害対策部

災害対策部では災害発生時の被災者に対するリハビリテーション支援を目的として活動をしています。災害への備えとして作業療法士会や言語聴覚士会と協力し被災地支援で活躍できる人材育成や、会員に対しての教育研修などの活動を行っています。

令和に入って発生した激甚災害のほとんどで被災県のリハビリテーションスタッフが災害リハビリテーション支援チームとして避難所の支援活動をしています。避難所の環境整備や生活不活発発病の予防など専門的な支援は年々ニーズが増えています。

「自分たちの地域は自分たちで守る」ためにこれからもご協力をよろしくお願い致します。

災害対策部 上野 浩季



地域包括ケアシステム推進部

「地域で活躍できる人材育成」と「ネットワークの構築」を二本柱として、今期も活動していきます。会員の皆様には「地域ケア会議・介護予防推進リーダー」の取得を目指して頂き、理学療法士が地域に参画できる体制をつくっていくことが私たちの主な仕事です。

年々、各市町村から県士会への派遣要請が増加しております。この追い風に乗れ、地域に一步踏み出してみませんか？

ご協力頂ける方や興味がある方、是非ともお声かけください。部員も募集しておりますので下記までご連絡下さい。



地域包括ケアシステム推進部 鵜飼 浩史
gifuken.tiikihoukatsu.care@gmail.com

< 会 員 の 声 >

子供の成長と脳の発達

羽島市民病院

中 島 大 喜

私は理学療法士になって12年目になります。大学を卒業後に愛知県の総合病院で約5年半勤務し、現在は羽島市民病院で勤務しています。結婚したタイミングで羽島市民病院へ変わり、現在は5歳と3歳の娘がいます。我が家は夫婦ともに理学療法士で「理学療法学」の雑誌やこの雑誌「らいちょう」が毎回2冊も送られてくる家庭です。私の妻は訪問看護ステーションに勤務しており、育児休暇後に時短勤務をしています。しかしながら、時短した時間のみで家事や育児をすることは難しく、夫婦で育児と家事を協力しながら生活しています。

我が家の子供達は脳の発達時期です。人間の脳は3-4歳までに80%成長するとされています。次女は最近3歳になったばかりですが、「イヤイヤ期」の最中で「なぜなぜ期」に移行途中です。

「イヤイヤ期」とは、自我が芽生え、自立しようと踏み出している段階と言われています。「魔の2歳児」とも呼ばれています。自分の本能のままにやりたいこと、したいことに一直線であり、何を言っても「イヤ」と言われます。2歳では前頭前野が未発達であり、自分の思い通りにならないときに気持ちを抑制することができません。3歳頃より前頭前野の機能が発達し、自分のコントロールができるようになっていわれています。

「なぜなぜ期」は、知的好奇心や学習意欲を育てる時期とされています。「なんで?」と色々な事に興味を持ち、質問攻めにされます。大人が当たり前と思っている細かい所まで質問攻めにされ、聞かれるとわからないことが多々あり私自身が勉強になることがあります。

子供の脳は、視覚刺激による後頭葉の発達から始まり、聴覚刺激による側頭葉の発達、触覚刺激による頭頂葉の発達、最後に前頭葉の発達が順番に起こるとされています。我が家の長女と次女の年齢である3-5歳は運動野の発達がピークになる時期です。公園の遊具で遊ぶことが好きな娘達は、考えながら

体を動かすことで前頭前野や運動野が発達中です。

私自身も前頭前野を働かせ、遂行機能を高めて計画的に業務を遂行し、早く帰宅することで仕事と子育ての両立を続けていきたいと思います。また、子供達と共に成長していきたいと思います。

3つの配りものをお届けしなさい

社会医療法人 白鳳会 鷺見病院
リハビリテーション科

原 宗 弘

地元郡上で働き始め早くも十数年。色々な経験をさせて頂いている中で何か皆さんにお届けできるものはないかと考えに考え、~~メ~~切直前に……。焦りに焦った中、今回、私が働いて行く中で大変参考にさせて頂いている言葉を皆さんにお届けできたらなと思います。

これは私が担当をさせて頂いた患者さんから頂いた言葉です。その方は脳出血により重度の左片麻痺を患いながらも懸命にリハビリを行う方でした。

その方との雑談の際はユーモアのある話が沢山あり、その中でその患者さんは、某有名自動車販売会社支店長まで勤め上げたサービスのプロであったため、サービスを提供する上で大事なポイントとはなにか?と聞きました。そこで、「3つの配りものをお届けしなさい」という言葉を教えて頂きました。

配りものをする3つのものとは「目配り」「気配り」「心配り」です。

自動車販売会社に訪れるお客さんは、車が欲しい人・見たい人・ちょっと寄っただけの人など沢山の思いを持って訪れるようです。その方々に少しでも価値のある時間を過ごしてもらうために「3つの配りもの」をお届けするように意識すると良いサービスができると教えてもらえました。

目の前になにかサービスができる状況がないか探しなさい=『目を配りなさい』。サービスが提供できそうな状況が見ついたらなにか適切なサービスが考えなさい=『気を配りなさい』。そして考えたサービス(気持ち)をお伝えしに早速行動をしなさい=『心を配りなさい』。

私達の仕事内容も人と人の関わり合いの仕事。目

の前に現れる対象とする方々はそれぞれ疾患・生活環境・人生観も違い、求めているものも違う状況。その中で、関わって行く方々に少しでも有意義な時間となってもらいたい、今後の人生が少しでも豊かになってもらえるよう関わって行きたい、と考えていく上での大きな支えとなる言葉となっています。

患者さんの困りごとを探すため「目配り」し、患者さんの困りごとを考えるため「気配り」し、その考えたことを患者さんに提供していく「心配り」をしていく。基本的な事かもしれませんが、その当時から今現在まで私の土台となり、若手スタッフ・学生にもお伝えしていきたい言葉として心に留めております。

今回のこの言葉が皆さんのもとにお届けできれば幸いです。そして皆さんも「3つの配りもの」を周りの方々に届けをしてみてください。良いサービスができると思いますよ。私のサービスの師匠とも思える方からの言葉なので間違いありません。

仕事と子育て

西美濃厚生病院

仲田 祐美

私が働くりハビリテーション科はここ数年結婚と出産ブームです。みなさんの職場ではどうでしょうか？

私は現在7歳と4歳の2人の子育てをしながら総合病院に勤務しています。当初、仕事と子育ての両立に不安感が強く、退職やパートなど勤務体系を変更することも考えました。一度挑戦してどうしても困難な時に考えようと思い、現在に至っています。それぞれ1歳まで育児休暇、3歳まで時短勤務、現在はフルタイムで勤務しています。当時リハビリテーション科ではまだ誰も時短勤務を選択していない状況でしたが、職場の皆様は快く認めていただき本当に助かりました。

1歳から保育園に入園しましたが、本当によく風邪をもらい小児科通いの日々でした。ようやく子供が治った頃に大人が感染し重症化することも何度もあり、健康である事の尊さを実感しました。ほぼ1年中薬を飲みながら保育園に行かせている事に申し

訳なさを感じていましたが、そんな子供たちも成長し、今ではほとんど休む事がなくなり嬉しく思っています。

時短勤務は勤務時間を2時間短くできたので、私は8時半～15時15分の勤務にしました。21時就寝を目指す中で、保育園の迎え、習い事の送迎、小児科への通院、食事作り、夕食、入浴、寝かしつけなど沢山やる事があり、大変貴重な2時間でした。フルタイム勤務に戻ってからは子どもの成長によって手がかかりにくくなった反面、帰宅後の時間の少なさや、仕事が増えての大変さがあり毎日パタパタと過ごしております。

私の職場は、定時に帰宅しやすい雰囲気や子供都合での休みを認めてもらえるなど、理解ある上司や仲間のおかげだと思います。当然休暇が増える事によりスタッフや患者さんに迷惑をかけている事には他ならないので、この環境を当然と思わずに工夫や配慮をしながら仕事をしていきたいと思っています。本当に感謝でいっぱいであり、これからもこの良い雰囲気を継続し、お互いが楽しく仕事も子育ても行える環境にしていきたいです。

女性は結婚、出産、旦那さんの転勤などで仕事との向き合い方を変える必要がある事が男性以上にあると思います。一方理学療法士の仕事は夜勤もなく、子供の休日と合わせやすく働きやすいと思います。仕事をしながらの子育ては大変な事もありますが、大変さ以上に楽しみも多いです。今は仕事を続けて良かったと思っています。これから結婚、出産を考えている方の参考になればと思います。

令和4年度 賛助会員

会社名・施設名	電話番号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2-32	TEL 058-273-3007(代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16-12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210-3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211
株式会社 ケア 〒 502-0848 岐阜県岐阜市早田本町 1 丁目 9 番地	TEL 058-233-7981
株式会社 大塚製薬工場 〒 500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 2-20 濃飛ビル 9 階	TEL 058-227-3811
株式会社 gene 〒 461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1 丁目 26 番地 12 号 IKKO 新栄ビル 6F	TEL 052-325-6611
株式会社 Lee 製作室 〒 910-0374 福井県坂井市丸岡町北横地 40-9	TEL 0776-50-1105
有限会社 であい工房 〒 738-0034 広島県廿日市市宮内 3300	TEL 0829-39-0041

編集後記

らいちょう 142 号作成に当たり、巻頭言・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、植木 努氏、原 宗弘氏、仲田 祐美氏、中島 大喜氏に感謝致します。この場をお借りして、お礼申し上げます。

皆様、バスケットボールは好きですか？私は大好きです。最近のバスケットボール日本代表の活躍は大変凄まじく、ニュースでよく取り上げられるようになったことでより皆様に競技自体がどんどん認知されてきていることを私は嬉しく思います。

話は変わりますが、先日イオンモール各務原店で行われていた岐阜県理学療法士会の活動に一般人として参加してきました。数年前私はスタッフとして同じようなイベントに参加することがありましたが、以前よりも参加者が多く活気ある様子に感動しました。隣で行われていた「おさるのジョージ」のブースといい勝負をしていたと思います。このような活動の輪が理学療法士全体にも広がっていき、一般の方々により認知されるようになるといいなと感じます。

(Y. M)

広告掲載のご案内

士会ニュース広告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒 502-0812 岐阜市八代 1-7-1

岩砂病院・岩砂マタニティ

TEL : 058-231-2631 FAX : 058-294-1480

E-mail : gptakouhou@gmail.com

2022. 8. 27

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 村 雲 憲

事務局：〒 500-8384 岐阜市藪田南1丁目 11 番 12 号

岐阜水産会館 4B-4 号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編 集：矢代真也

印刷所：(有)いすくら
